

大分県で来年開催されるのは

第33回 国民文化祭・おおいた2018 第18回 全国障害者芸術・文化祭大分大会

テーマ おおいた大茶会

豊臣秀吉が行った「北野大茶会」にヒントを得て、「日常の中に素晴らしいものを見だし、人を招き、もてなし、ともに楽しむ」ことをイメージしたものです。

会期
平成30年10月6日(土)～11月25日(日)



基本方針

- ①街にあふれ、道にあふれる、県民総参加のお祭り
- ②新しい出会い、新たな発見
～伝統文化と現代アート、異分野コラボ～
- ③地域をつくり、人を育てる

県内市町村の取り組み

県内を5つのブロックに分けて、テーマに沿った芸術文化事業を行います。

— 地域のテーマ —

- 「出会いの場」 「祈りの谷」
- 「豊かな浦」 「耕す里」 「水の森」

国東市は、豊後高田市、杵築市、宇佐市、姫島村、日出町と一緒のブロックで「祈りの谷」のテーマで事業を行います。



国民文化祭とは

全国各地で行われている各種の文化活動を全国的規模で発表、競演、交流する場を提供することにより、国民の文化活動への参加の機運を高め、新しい芸術文化の創造を促すことを目的として、昭和61年度から毎年、各都道府県で開催されている国内最大の文化の祭典です。

全国障害者芸術・文化祭とは

芸術及び文化活動の発表、交流の場を提供することにより、障がい者の創造性を高め、社会参加を促進するとともに、国民及び県民に、障がいに対する理解と認識を深めていただくことを目的に、平成13年度から毎年、各都道府県で開催されている国内最大の障がい者芸術・文化の祭典です。

国民文化祭・全国障害者芸術文化祭 特集



国東で育んできた文化を 全国へ

大分県で来年開催される「国民文化祭・全国障害者芸術文化祭」は、これまで育んできた文化を全国へ発信する絶好の機会となります。市民総参加で取り組んでいきましょう。

前回の様子をご紹介します

「第13回 国民文化祭・おおいた98」

平成10年に開催された国民文化祭では、国東町と武蔵町でもイベントが行われました。また、吉弘楽保存会と諸田山神社御田植祭保存会、伊美別宮社の皆さんは、市外で開催されたイベントにも参加しました。

市内で開催されたイベント

国東町



シンポジウム「石と文化」
(国東町農村環境改善センターほか)



生活文化総合フェスティバル
「国民娯楽の祭典」
(くにさき望海苑ほか)

武蔵町



文芸祭「現代詩大会」
(武蔵中央公民館)

市外に参加したイベント

神楽フェスティバル(庄内町)



国見町
伊美別宮社神楽

郷土芸能フェスティバル(久住町)



武蔵町 吉弘楽



安岐町
諸田山神社御田植祭

※開催場所は、当時の名称で記載しています。